



平和首長会議ニュース

2018年5月 / 第101号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 7,578 自治体
日本国内加盟自治体数：1,723
(2018年5月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆2020年NPT再検討会議第2回準備委員会に出席
- ◆平和首長会議会長がパリ市、ゲルニカ・ルモ市を訪問
- ◆平和首長会議 青少年「平和と交流」支援事業「ヒロシマ平和セミナー」への参加者を募集します
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木等の配付事業のご案内
- ◆平和首長会議情報システムについてのご案内
- ◆4月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 力国・地域 7,578 自治体

■2020年NPT再検討会議第2回準備委員会に出席

[4月23日~26日 ジュネーブ市(スイス)]

4月23日から5月4日の会期で、ジュネーブ市において、2020年NPT再検討会議第2回準備委員会が開催され、広島市長、長崎市長をはじめとする平和首長会議代表団が出席しました。

4月25日のNGOセッションでは、平和首長会議会長である松井一實広島市長と副会長である田上富久長崎市長が最終発言者を務めました。松井市長はそのスピーチの中で、NPT第6条の核軍縮の誠実交渉義務を改めて確認し、具体的な核軍縮措置を速やかに実施すること、そして、人間の理性に基づいた対話により協調的安全保障に転じ、核兵器禁止条約を核兵器廃絶に向けた重要な道しるべとして推進することの重要性を強く訴えました。田上市長は、去年亡くなった被爆者・谷口稜暉氏の写真パネルを掲げながら同氏の発言を引用し、核兵器は人間と共存できないこと、そして対話により平和を構築するための「英知」を生み出すことの重要性を各国政府に訴えました。

4月26日には、準備委員会のサイドイベントとして平和首長会議ユースフォーラムを開催しました。広島・沖縄から派遣された高校生、ナガサキ・ユース代表団、平和首長会議役員都市である英国・マンチェスター市とスペイン・グラナダ市の青少年、そしてヨーロッパの2つのNGOで活動する青少年らが、自分達の活動や平和への思いについて発表し、意見交換を行いました。



広島市長(写真右)・長崎市長(写真左)がブガイスキーNPT再検討会議第2回準備委員会議長と面会(4月24日)

会期中、第10回平和首長会議理事会を開催し、ヨーロッパの都市のみならず、モンテネグロやモンテンルパを含む10都市が集い、昨年採択した2020年までの行動計画に関する具体的な推進方策について意見交換を行いました。

また、平和首長会議の役員都市が最も多いヨーロッパ地域で、支部としてまとまった活動を推進する計画について協議するための会議が、同地域の役員都市の主催により開催され、7つの役員都市が参加しました。

その他、準備委員会のブガイスキー議長をはじめとして、オーストリアやコスタリカといった条約推進派、更には、核保有国の米国政府代表とも面会し、すべての国の共通の目標である核兵器のない世界の実現に向けて、理性に基づいた対話を大切にしながら、まずはNPTを推進し、その先に核兵器禁止条約を据えた取組を推進していくことの重要性を訴えるとともに、平和首長会議の取組に対する理解と協力を求めました。

準備委員会期間中の平和首長会議の活動詳細及びNGOセッションにおけるスピーチ内容については、以下のリンクをご覧ください。

▼2020年NPT再検討会議第2回準備委員会に合わせて、平和首長会議代表団がスイス、フランス、スペインを訪問(2018年4月)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/history/2020_2011/2018_4_gallery.html

▼参考:2020年NPT再検討会議第2回準備委員会 議長総括(英語、Reaching Critical Will ウェブサイト):

<http://www.reachingcriticalwill.org/images/documents/Disarmament-fora/npt/prepcom18/documents/draft-factual-summary.pdf>

=====

■平和首長会議会長がパリ市、ゲルニカ・ルモ市を訪問

[4月27日～29日 パリ市(フランス)、ゲルニカ・ルモ市(スペイン)]

=====

ジュネーブ市での活動に続いて、平和首長会議会長である松井一寛広島市長は加盟都市であるフランスのパリ市、スペインのゲルニカ・ルモ市を訪問し、それぞれ近隣の役員都市の協力を得ながら、被爆樹木の苗木の贈呈式、植樹式を実施しました。

パリ市では、4月28日、被爆イチョウの種から育てた苗木の贈呈式がパリ市役所において行われました。この苗木を育てた平和首長会議の副会長都市であるマラコフ市の副市長、フランス平和首長会議会長のグリニー市長、同事務局長夫妻や、駐フランス日本国大使館公使等が見守る中、松井市長からパリ市の副市長に苗木が贈呈されました。この苗木は、十分な大きさに育った段階で、パリ市内の公園に植樹される予定です。

ゲルニカ・ルモ市では、4月29日、ビスカヤ県の議事堂の裏手に広がる公園において被爆イチョウの苗木の植樹式が開催されました。松井市長、ゲルニカ・ルモ市長、バスカ州首相、ビスカヤ県議会議長がスピーチした後、多くの市民や観光客が見守る中で植樹を行いました。今回植樹した苗木は、副会長都市であるスペインのグラノラーズ市が、被爆イチョウの種から育てた苗木を提供してもらったものであり、同市のマヨラル市長も植樹のメンバーに加わったことで、平和首長会議の連帯を示す機会となりました。

今後両市で苗木が大きく育つにつれ、市民の心に世界恒久平和や核兵器廃絶を願う気持ちが強く根付いていくことを期待しています。

両市訪問中の松井市長の活動詳細については、以下のリンクをご覧ください。

▼2020年NPT再検討会議第2回準備委員会に合わせて、平和首長会議代表団がスイス、フランス、スペインを訪問(2018年4月)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/history/2020_2011/2018_4_gallery.html#01



プニノー パリ市副市長に被爆樹木の苗木を贈呈する松井市長



ゲルニカ・ルモ市における被爆樹木の苗木の植樹式

=====
■平和首長会議 青少年「平和と交流」支援事業「ヒロシマ平和セミナー」への参加者を募集します
=====

平和首長会議では、「広島・長崎への受け入れを組み込んだ、青少年『平和と交流』支援事業等の充実」を重点取組項目に掲げ、今後の平和活動を担っていく青少年の育成を推進しています。

その一環として、広島市立大学が実施する「ヒロシマ平和セミナー」に、国内加盟自治体の青少年を招へいする事業を実施しており、参加者（職員）を募集します。「ヒロシマ平和セミナー」は、平和及び国際関係に関心を有する公務員、メディア関係者及び大学院生等を対象とする夏季集中講義です。募集要項等の事業の詳細については、近日中にお知らせします。

▼今後のスケジュール（予定）:

- ・参加者募集開始: 5 月中・下旬
- ・書類提出期限: 平成 30 年 6 月 29 日（金）
- ・選考結果通知: 平成 30 年 7 月上旬

▼問い合わせ先:

Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において、今後の活動を活発化し、より連帯意識の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、平成 27 年度から 1 自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。加盟自治体の皆様へは、本年 4 月 2 日付けで請求書等を郵送しております。納付金の納付期限は 6 月 29 日（金）となっておりますので、ご対応のほどよろしくお願いいたします。また、納付が困難な自治体の皆様におかれましては、その旨をご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない自治体があったとしても、その自治体に離脱を求めることはしない旨、第 8 回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 43 回）
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

SADAKO の物語をご存じでしょうか。広島の平和記念公園にある原爆の子の像をつくるきっかけとなった佐々木禎子さんです。

2 歳で被爆し、10 年後に白血病のため亡くなった広島の少女。病床で回復を祈りつつ、1000 羽以上の鶴を折ったとされています。死後、小学生時代の級友たちが原爆で亡くなった子どもたちを慰霊する像をつくろうと立ち上がり、1958 年 5 月 5 日に除幕式が行われました。

それから 60 年がたちました。日本古来の文化である折り鶴を作り、惨禍の地にささげて平和や幸せを願う。戦争や災害で亡くなった人を悼む。そうした営みは、まさに原爆の子の像を基点に始まったといえるかもしれせん。

春の修学旅行シーズンを迎えると、原爆の子の像の前には連日のように修学旅行生の輪ができます。彼らは思い思いにセレモニーを開き、合唱して世界平和を誓います。いわば平和の「磁場」としての原爆の子の像の役割に、あらためて思いをはせてみたいと思います。何より建立運動の原点が、身近な小さな死に衝撃を受けた子どもたちの小さな行動だったことです。

核兵器のない世界をつくるためには若い力を育て、集めていくことが大切です。朝鮮半島の非核化に向けた外交交渉も本格化します。再び核兵器の犠牲となる子どもたちを生むことは絶対に許されないことを、あらためて心に誓いたいと思います。

5月12日に禎子さんの母校、幟町小学校に平和資料室がオープンします。足を運んではいかがでしょう。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○「原爆の子の像」60年 サダコの輪 核廃絶へ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=82370>

○禎子さんの鶴 母校の平和資料室に託す 幟町小級友

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=82232>

○被爆者、朝鮮半島の「非核化」に期待

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=82344>

○社説 南北首脳会談 非核化へ歩み止めるな

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=82340>

○社説 NPT 準備委 核軍縮 保有国に迫ろう

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=82318>

=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

昨年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この計画に基づいて、核兵器のない世界の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の実施にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



=====
■被爆樹木二世の苗木等の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp



▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>

=====

■平和首長会議情報システムについてのご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。ログインID等が不明の場合は、メールにてお問合せください。各自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

▼システムのURL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Email: mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====

■4月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、4月に次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

* 4月2日(月) アイマン・アリ・カーメル 駐日エジプト・アラブ共和国特命全権大使

* 4月2日(月) 香川剛廣 駐エジプト日本国特命全権大使

* 4月9日(月) カミラ・ハニファ 駐日ブルネイ・ダルサラーム国特命全権大使

=====

■平和首長会議加盟自治体数: 163カ国・地域 7,578自治体

=====

5月1日付で、11自治体が加盟し、加盟自治体数は7,578(163カ国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、深川市(北海道)、北斗市(北海道)、利尻富士町(北海道)、嘉手納町(沖縄県)が加盟し、国内加盟自治体数は1,723(加盟率99.0%)となりました。

海外については、副会長都市でありドイツにおけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、ドイツの5自治体が加盟しました。この他、イタリア、ノルウェーから各1自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

▼5月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018/newmembers1805_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp